

【健育会グループの病院・施設で働いて感じた 仕事のやりがい】

職種：事務 勤続年数：4ヶ月

時期：令和2年6月

緊張するが、給与は間違えない

私はこれまで20年近く人事・労務の職に就いていましたが、医療機関で働くのは初めての事となります。一般的な会社員とは違って勤務体系も何パターンもあり、給与体系も同様です。4か月経った今はだいぶ慣れましたが、入職して間もなくやってきた給与計算にはいささか手こずったのを覚えています。医療機関というところか台風で電車が止まっても、東日本大震災の計画停電の時も透析を行ったというお話も聞きました。そんな医療従事者の方々の勤務された日々の時間を間違いなく計算して、給与や賞与を正しく支給することが私の仕事のやりがいです。この仕事を何年やっても、最後の「銀行にデータを送信する時」は間違いがあるのではないかと毎回緊張します。そして給与の支給日が過ぎて何事も無く過ぎると、毎月ひそかに安心していきます。どんなに万全を期したつもりでも毎回この緊張を感じない事はありません。そしてこの仕事をしている限り、この緊張は毎回つきまとうでしょう。しかし、これこそがやりがいなのだとは私は思っています。給与が間違いなく支給される事は当たり前の事です。そして、その当たり前が常にそうであり続ける様に毎回この緊張感を持って、これからもこの仕事を遂行していきたいと思っています。